

避難所運営をICチップで効率化

広島工業大学は、ICチップなどのデジタル技術により避難所運営を効率化するシステムを提案しています。落合学区自主防災会連合会のご協力を得て実施した避難訓練では、避難者の点呼作業や食料等配給作業に本システムを適用し、その有効性を実証しました※。

① 避難者の受付作業



避難者名簿の記入
及びデータ登録
(活用できる住民のデータ
ベースがあれば不要)

避難所運営
支援システム



ICチップ読取機



ICチップ付ネックストラップの配布
(事前配布できれば更に効率化可能)

② 避難者の点呼作業の効率化



避難者のICチップ付ネック
ストラップを離れた場所から
ICチップ読取機で検出する
ことで、短時間かつ呼びかけ
無しに点呼を完了しました。

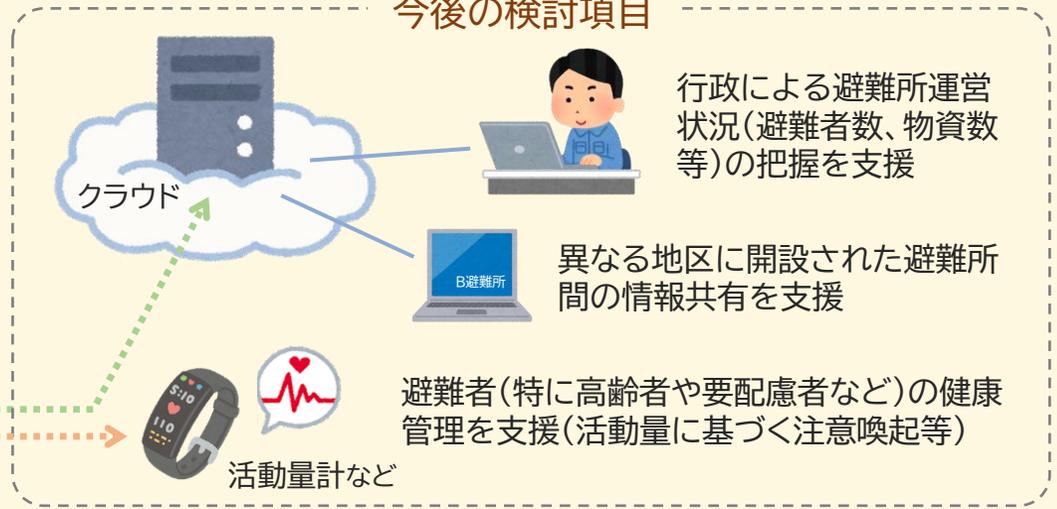
③ 避難者への食料等配給作業の効率化



避難者名簿の代わりにICチップ
付ネックストラップを用いて食料
や水などの物資配給を短時間で
完了しました。日々の配給履歴
管理により、避難者の避難所生
活状況の把握にも適用できます。

※ 実証実験における協力企業: (株)三宅, (株)ハイエレコン

今後の検討項目



避難訓練者のアンケート結果

左記②・③に対するICチップの有効性は...

